NEPON

油だき温水ボイラ

取　扱　説　明　書（保証書付）

製品名

ON-314
ON-314F
OD-434
OD-434F

＜施工業者さまへ＞
どの用途で施工されているか、以下の□にチェックを入れてお客さまにご説明ください。

＜お客さまへ＞
この機器は、用途にあわせて施工されています。
どの用途で施工されているか確認してから、取扱説明書をお読みください。

□ 給湯専用　　□ 暖房専用

〔もくじ〕

はじめに

事前にご確認ください…… 2
製品名の確認のしかた…… 2
特に注意していただきたいこと…… 2

ご使用前に

使用前の準備…… 8
各部のなまえとはたらき（機器本体）…… 10
各部のなまえとはたらき（リモコン）…… 12
　リモコン操作音の消しかた（鳴らしかた）…… 12

使いかた

給湯専用 の場合
お湯を出す…… 13
お湯（または暖房水）の温度を調節する…… 14
暖房専用 の場合
機器と暖房放熱器の連動について…… 16
暖房専用 の場合
暖房する…… 17

必要なとき

凍結による破損を予防する…… 18
長期間使用しないとき…… 19
日常の点検・お手入れのしかた…… 21
定期点検（有料）…… 23
暖房専用 の場合
暖房水の交換について…… 23
部品交換のしかた…… 23
ON-314シリーズの場合
法定点検について…… 24

困ったとき

故障・異常かな？と思ったら…… 26
リモコンに英数字が
　点滅しているとき＜故障表示＞…… 28

ご参考

主な仕様…… 29
無料修理保証書…… 31
据え付け…… 32
アフターサービス…… 32

SEC8094　SEC8091

事前にご確認ください

このたびはネポン製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます

- この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。なお、別売品の取扱説明書がある場合は、必ずそちらも併せてお読みください。
- 保証書(P31)は必ずお買い上げ日・販売店名などの記入を確かめてください。
- この取扱説明書(保証書付)はいつでもご覧になれるところに保管してください。

説明中の(P○)の数字は参照ページを表します

説明中のリモコン表示画面は一例です

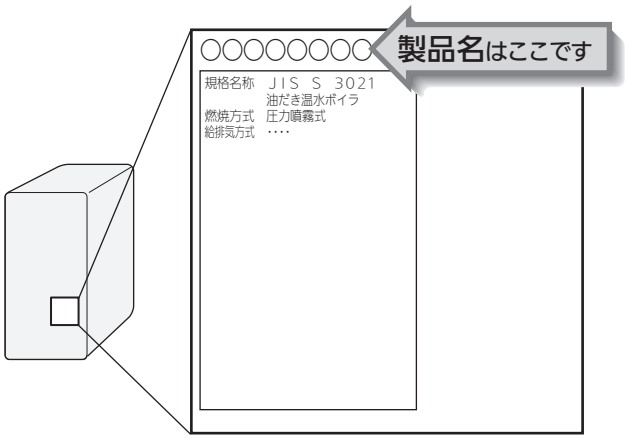
- 実際の表示画面は、設置状態や使用状況によって異なります。

説明中の二次元コードについて

- 通信料金はお客さまのご負担となります。
- リンク先の内容は、予告なく変更・削除される場合があります。

製品名の確認のしかた

- 製品名は機器に貼り付けてある銘板で確認できます。



特に注意していただきたいこと

- お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

⚠警告
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定されます。

⚠注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定されます。

お願い
安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

⚠警告 使用燃料について

ガソリン厳禁

●ガソリン厳禁
灯油(JIS 1 号灯油)を必ず使用してください。ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。

⚠注意 使用燃料について

禁止

●不良灯油(変質灯油・不純灯油)を使用しない
変質灯油(日光の当たる場所や温度の高い場所で保管して変質した灯油)や、不純灯油(灯油以外の油・水・ゴミなどが混入した灯油)などの不良灯油は使用しないでください。機器の故障の原因になります。

お願い 使用燃料について

●灯油は必ず火気・雨水・ゴミ・高温・直射日光を避けた場所に保管する
灯油が変質する原因になります。

⚠注意 異常のあったとき

必ず守る

●異常時はただちに使用を中止する

異常燃焼・異常臭気を感じたときや、地震・火災などの緊急時は、次の手順に従ってください。

①給湯栓を閉める
②【暖房専用の場合】
暖房放熱器を停止する
③ON/OFFスイッチを「切」にする
④電源プラグを抜く
⑤送油バルブ・給水元栓を閉める
⑥お買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所に連絡する

火災・感電・故障などの予防のため。

禁止

●油漏れやにおい、ススの発生、故障表示をくりかえすなど、異常や故障と思われるときは使用しない

思わぬ事故の原因になります。P26「故障・異常かな？と思ったら」、P28「リモコンに英数字が点滅しているとき＜故障表示＞」に従って処置してください。

⚠警告 停電のとき

必ず守る

●優先ランプ点灯中の状態で停電すると、停電復帰時に自動的に運転する場合があるため注意する
機器を使用しない場合は電源プラグを抜く

お願い 停電のとき

●停電すると、運転が停止します

お願い 雷・断水などのとき

電源プラグを抜く

●雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を停止し、電源プラグを電源コンセントから抜く（またはブレーカーを「切」にする）

ぬれ手禁止

ぬれた手でさわらない（感電のおそれがあります）

感電注意

雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。
雷がやんだあとは電源プラグを電源コンセントに差し込んで（またはブレーカーを「入」にして）ください。
※冬期は、電源を長時間切っていると凍結予防の対策（P18の対策1）ができず、凍結のおそれがあります。
※落雷被害に有効な火災保険へのご加入をおすすめします。

●断水時は運転を停止し、給湯栓を閉める

給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。

●断水復帰後の使いはじめのお湯は飲まない、調理に使用しない

断水したときは飲用や調理用に適さない水が配管にとどまることがあります。

●断水復帰後は、給湯栓から充分水を流してから使用する

お願い 積雪時・凍結予防・長期間使用しないとき

●積雪時には給気口・（給）排気筒トップの点検、除雪をする

雪により給気口・（給）排気筒トップがふさがれると、機器の故障の原因になります。

●凍結による破損を予防する（P18）

あたたかい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、必要な対策をしてください。凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

●長期間使用しない場合、必要な処置をする（P19）

凍結や送油経路内の灯油が変質するのを予防するため。

⚠警告 機器の使用時

高温注意

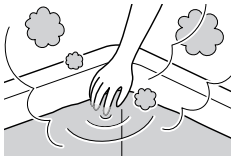
●シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する

やけど予防のため。

・「6」「7」の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。
・お湯の使いはじめは正常な温度でも、使用中に熱くなる場合があります。熱いお湯が出た場合は、すぐに使用を中止してください。なお、使用中にお湯が熱くなる状態が続く場合は機器故障の可能性がありますので、お買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所にご連絡ください。
・夏場などの水温が高いときやお湯の量を絞って使ったとき、設定温度より高い温度のお湯が出る場合は、湯量を増やしたり水を混ぜたりしてから湯温を確認して使用してください。

●浴槽の湯温を手で確認してから入浴する

やけど予防のため。



（つづく）

⚠警告 機器の使用時（つづき）

高温注意

●設定温度が高温のときは、高温水に直接ふれないよう注意する
やけど予防のため。

●設定温度に関係なく、給湯栓から高温のお湯が出る場合があります
高温から低温に設定温度を下げても、高温のお湯が貯湯槽に残っています。しばらくは高温のお湯が出るので、注意してください。

禁止

●シャワー使用時に使用者以外が、リモコンの温度を変えたり、ON/OFFスイッチを「切」にしたりしない
高温に変更されたときのやけど予防のため。
また、低温に変更されたりON/OFFスイッチを「切」にされたりすると、冷水になって使用者が驚く原因になります。

⚠注意 機器の使用時

禁止

●浴槽のふたの上に乗ったり手をついたりしない
ふたが外れておぼれたり、やけどなど思わぬ事故の原因になります。

●子供を浴室内で遊ばせない、子供だけで入浴させない
やけどやケガなど思わぬ事故の原因になります。

必ず守る

●子供が浴槽にもぐったりしないように注意する
思わぬ事故の原因になります。

お願い 機器の使用時

●ON/OFFスイッチ「切」時にはお湯側から水を出さない
お湯を出すときには、ON/OFFスイッチ「入」を確認してください。
ON/OFFスイッチ「切」時にお湯側から長時間水を出すと熱交換器内に結露現象が発生し、不完全燃焼の原因になったり、電気部品の損傷の原因になる場合があります。
シングルレバー式混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。

●機器や配管に長時間たまった水や、朝一番のお湯は飲まない、調理に使用しない
雑用水として使用してください。

お願い リモコンの取り扱い

●リモコンを子供がいたずらしないよう注意する

●リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気を当てない
電気ポットなどに注意。故障の原因になります。

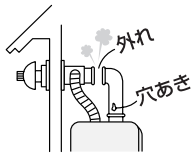
⚠警告 機器とその周辺の注意

禁止

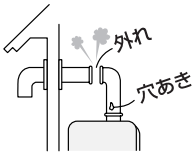
●【屋内設置・強制給排気形の場合】給排気筒トップの閉塞危険
給排気筒トップのまわりが雪でふさがれたままで使用しないでください。ふさがれているときは、除雪してください。閉塞していると運転中に排気ガスが室内に漏れて、危険です。

●【屋内設置・強制排気形の場合】排気筒トップの閉塞危険
排気筒が詰まったり、ふさがったままで使用しないでください。閉塞していると、運転中に排気ガスが室内に漏れて、危険です。

●【屋内設置・強制給排気形の場合】給排気筒外れ危険
給排気筒（管・ホース）は、穴があいたり、外れたりしたままで使用しないでください。
穴があいたり外れたりしていると、運転中に排気ガスが室内に漏れて、危険です。



●【屋内設置・強制排気形の場合】排気筒外れ危険
排気筒は、穴があいたり、外れたりしたままで使用しないでください。
穴があいたり外れたりしていると、運転中に排気ガスが室内に漏れて、危険です。



⚠注意 機器とその周辺の注意

必ず守る

●【屋内設置形の場合】ゴム製送油管にひび割れや亀裂がないことを確認する（ひび割れや亀裂が見た目上ないときは、ゴム製送油管を少し曲げて確認する）
ひび割れや亀裂があった場合は交換してください。また、ゴム製送油管は時間とともに劣化するため、3年に1回は交換することをおすすめします。油漏れにより、火災の原因になります。

●オイルタンクや送油管の接合部などから油漏れがないことを確かめる
油漏れにより、火災の原因になります。

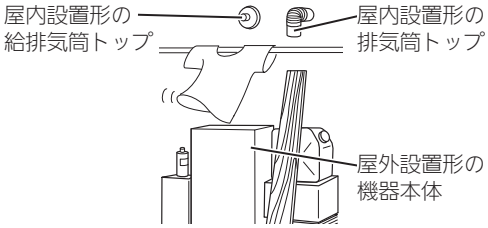
接触禁止

●高温部接触禁止
燃焼中や消火直後は(給)排気筒トップ・排気筒やその周辺に手などふれないよう注意してください。やけどのおそれがあります。

禁止

●外壁の塗装や増改築、建物の修繕時などに機器本体・(給)排気筒トップが養生シートで覆われた場合は、機器を使用しない
不完全燃焼や一酸化炭素中毒、爆発点火の原因になります。

●燃えやすい物を機器本体・(給)排気筒トップのまわりに置かない(洗濯物、新聞紙など)
●ガソリン、ベンジンなど、引火のおそれのある物を機器本体・(給)排気筒トップのまわりで使用しない
火災の原因になります。



●スプレー缶やカセットこんろ用ボンベを機器本体・(給)排気筒トップのまわりに置かない、使用しない
熱でスプレー缶の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。

●(給)排気筒トップのすぐ前に物を置かない
異常燃焼や火災の原因になります。

●給気口・(給)排気筒トップに指や棒を入れない
ケガや故障の原因になります。

●子供を機器の周囲で遊ばせない
思わぬ事故の原因になります。

●【屋内設置形の場合】
ゴム製送油管はきつく曲げたり丸めたりしない
ゴム製送油管が劣化して油が漏れ、火災の原因になります。

お願い　機器とその周辺の注意

●機器のまわりはきれいにしておく
まわりが雑草、木くず、箱などで雑然としていると、機器の内部にゴキブリが侵入したりクモの巣がはったりして、機器の損傷や火災の原因になることがあります。

●植物やペットなど、排気ガスによって加熱されると困るものや悪影響を受けるものを、(給)排気筒トップの周囲に置かない

●塀などを増設する場合は、機器の点検・修理に必要な空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮する
塀などと機器や(給)排気筒トップとのあいだに充分な空間がないと、機器の点検・修理に支障をきたす場合があります。また、機器や(給)排気筒トップの周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良になるおそれがあります。(点検・修理に必要な空間については、お買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所に確認してください)

●排気ガスが直接建物の外壁・窓・アルミサッシなどや、物置などの塗装品などに当たらないように設置する
増改築時も同様に注意する
ガラスが割れたり、変色したり、塗装がはがれたりする原因になります。

お願い　リモコンの設置環境

●リモコンは0℃～40℃の温度環境で使用する
故障の原因になります。

⚠注意　機器のメンテナンス

必ず守る

●機器の給気口がホコリ・ゴミなどでふさがっていないか確認する
不完全燃焼の原因になります。

●【暖房専用 の場合】
暖房水は3年に1度、弊社指定の不凍液に交換する
交換せずに使用された場合は、防サビと凍結予防の効果がなくなり、機器や暖房放熱器が破損する原因になります。
交換の際は、お買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所に依頼してください。

●機器の点検・お手入れ・水抜きをする場合、ON/OFFスイッチを「切」にする
暖房専用 の場合は暖房放熱器も停止する
やけど予防のため。ON/OFFスイッチ「切」後も、貯湯槽のお湯(または暖房水)が熱くなっているため、気をつけて作業してください。

(つづく)

お願い　機器のメンテナンス

●スス取り剤を使用しない

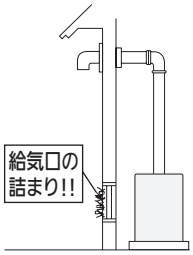
スス取り剤を使用すると、熱交換器などの損傷を起こす場合がありますので、絶対に使用しないでください。

⚠注意　リモコン・その他のメンテナンス

必ず守る

●【屋内設置・強制排気形の場合】
建物の給気口が、ホコリ・ゴミなどでふさがっていないか確認する

不完全燃焼の原因になります。



お願い　リモコン・その他のメンテナンス

●リモコンを分解しない

故障や、思わぬ事故の原因になります。

●リモコンの掃除には、塩素系・酸性・アルカリ性の洗剤やベンジン・シンナーなどの有機溶剤、メラミンスポンジを使用しない

変色・変形・傷・割れなどの原因になります。

●浴槽、洗面台はこまめに掃除する

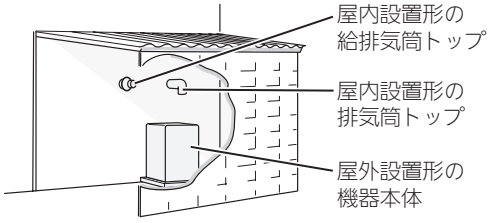
水中に含まれる微量の銅イオンと人体のアカやせっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して浴槽や洗面台が青く着色することがあります。こまめに掃除をして湯アカやせっけん成分を洗い流すことで、これを予防できます。

⚠注意　機器の設置や接続

禁止

●増改築などで屋内状態にしない（波板囲いなどをしない）

一酸化炭素中毒・火災の原因になります。



●ゴム製送油管を屋外で使用しない

●【屋内設置形の場合】
ゴム製送油管は直射日光に当たらない場所に設置する

ゴム製送油管が劣化して油が漏れ、火災の原因になります。

必ず守る

●この機器の電源はAC100V、50Hzまたは60Hz用です

他の電源で使用すると、故障・火災の原因になります。

●太陽熱温水器との接続時の注意

- 太陽熱温水器と接続できますが、設定温度に関係なく高温のお湯が出るなど、やけどのおそれがありますので、注意して使用してください。
- 機器を燃焼させずに太陽熱温水器のお湯をそのまま使いたい場合は、ON/OFFスイッチを「入」にし、設定温度を「1」にして使用してください。

お願い　機器の設置や接続

●温泉水で使わない

水質によっては、機器内の配管に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。
この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

●井戸水・地下水を使用時の注意

井戸水・地下水を給水したことにより発生した析出物（炭酸カルシウムなど）に起因する不具合の修理は、保証期間内でも有料になります。

⚠注意　電源プラグ・電源コードの扱い

ぬれ手禁止

感電注意

●電源プラグはぬれた手でさわらない

感電の原因になります。

禁止

●電源コード・電源プラグを破損させない、加工しない
束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物を載せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない。傷つけない。

感電、ショート、火災の原因になります。

●【暖房専用 の場合】
電源プラグを抜かない（異常時を除く）

ポンプが水あかなどにより動かなくなるのを防止するために、ときどきポンプが作動します。（電源プラグを抜くと作動しません）

●傷んだ電源プラグ、ゆるんだ電源コンセントは使用しない

感電、発熱による火災の原因になります。

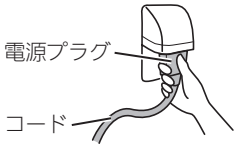
必ず守る

●電源プラグのホコリは定期的に取る

ホコリがたまると、火災の原因になります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

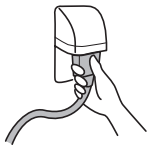
必ず守る

●電源プラグは、コードを持たずに電源プラグを持って抜く



コードを持って抜くと、コードが破損し、発熱、火災、感電の原因になります。

●電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不充分だと、感電や火災の原因になります。

⚠警告 その他の注意

分解禁止

●お客さまご自身では絶対に分解・修理・改造はおこなわない

思わぬ事故や故障の原因になります。

禁止

●スマートフォン、IT機器を使ってリモコンのスイッチを操作する外付け装置※は、安全性を確認できないため使用しない

※スイッチ付近に設置し、インターネット通信等を介して、スイッチを操作できる装置

⚠注意 その他の注意

禁止

●給湯、シャワー、お湯はり、暖房以外の用途には使用しない

思わぬ事故を予防するため。

お願い その他の注意

●使用しないときはON/OFFスイッチを「切」にする

凍結予防(P18の対策1)中は、ON/OFFスイッチを「入」にしておいてください。

●冬期の入浴について

冬期など浴室・脱衣室と居室の温度差が大きいときは、急激な温度変化による身体への悪影響(ヒートショック)によって、特に高齢者は入浴時の事故につながるおそれがあります。入浴時に暖房機器で浴室と脱衣室をあたためるなどしてください。浴室をあたためるには、シャワーでお湯を流したり、浴槽にふたをしないでお湯はりする方法もあります。

●この機器の純正部品以外は使用しない

思わぬ事故の原因になります。

⚠警告 床暖房がある場合

禁止

●床暖房の上で長時間座ったり、寝そべったりしない

低温やけどを起こすおそれがあります。
特に次のような方が使用される場合はまわりの方が注意してあげることが必要です。

- 乳幼児・お年寄り・病人など自分の意思で体を動かせない方
- 疲労の激しいときやお酒・睡眠薬を飲まれた方
- 皮膚や皮膚感覚の弱い方

●スプレー缶・カセットこんろ用ボンベ・ライターなどを、床暖房の上に置かない

熱でスプレー缶の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。

⚠注意 床暖房がある場合

禁止

●床暖房は、電気カーペットやこたつなどと併用しない

●床暖房の上に、カーペットなどを敷かない

性能が発揮できない原因や、熱がこもって床仕上げ材のひび割れ・そり・すき間・変形・変色の原因になります。

●床暖房に鋭利な物を落としたり、刺したり、くぎ打ちなどをしない、衝撃を加えない

床暖房が破損し、水漏れの原因になります。

●床暖房の上に、家具などを直接置かない

家具などに熱がこもって、ひずみなどが生じる原因になります。家具などを置く場合は、床表面と家具などのあいだに空間を設けるようにし、熱がこもらないように配慮してください。

●床暖房の上で、車椅子やキャスター付きの椅子・家具を使用しない

床仕上げ材の傷・へこみの原因になります。

●暖房以外の用途には使用しない

特殊な用途(衣類の乾燥・動物の飼育・植物の栽培・食品の保存など)には使用しないでください。思わぬ事故を予防するため。

●床暖房の上に、テレビなどのリモコンを長時間置かない

リモコンの故障の原因になります。

(つづく)

⚠注意　床暖房がある場合（つづき）

必ず守る

●ピアノなどの重量物にはパッドなどの緩衝材を敷き、1か所に荷重がかからないように設置する
床暖房が破損し、水漏れの原因になります。

●床暖房の上に水などがこぼれたら、すみやかにふき取る
水・薬品・しょうゆ・ペットの排泄物などがついたままにしておくと、床仕上げ材の変色・腐食の原因になります。

●重量物を移動させるときは、引きずらずに持ち上げて移動させる
床仕上げ材の傷・へこみの原因になります。
椅子の脚など床と接触する部分には、フェルトなどを貼って保護してください。

●閉めきった部屋で長時間床暖房を使用する場合は、換気する
閉めきった部屋で長時間使用すると、ごくまれに体調が悪くなる場合があります。窓を開けるなどして換気をしてください。
これは、接着剤や床仕上げ材に含まれるホルムアルデヒドが原因のひとつと考えられますが、床暖房以外の原因も考えられるため、施工業者にご相談ください。

●床下の防腐・防蟻処理時、床暖房や配管などに処理剤が付着しないよう注意する
床暖房が破損し、水漏れの原因になります。

●床仕上げ材のお手入れは、床仕上げ材メーカーの取り扱い方法に従う
●床仕上げ材の貼り替えは、床仕上げ材メーカーの指定工法で施工する
詳しくは床仕上げ材メーカーへお問い合わせください。

●ラグマットなどの部分的な敷物を敷設し、長期間同じ場所に敷いたままで床暖房運転をした場合、性能が発揮できない原因や、熱がこもって床仕上げ材のひび割れ・そり・すき間・変形・変色の原因になります

使用前の準備

●初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

⚠警告

禁止

【屋内設置形の場合】
（給）排気筒外れ危険
排気筒または給排気筒（管・ホース）は、穴があいたり、外れたりしたままで使用しないでください。穴があいたり外れたりしていると、運転中に排気ガスが室内に漏れて、危険です。

⚠注意

禁止

（給）排気筒トップのすぐ前に物を置かない
異常燃焼や火災の原因になります。

禁止

●燃えやすい物を機器本体や（給）排気筒トップのまわりに置かない（洗濯物、新聞紙など）
●ガソリン、ベンジンなど、引火のおそれのある物を機器本体や（給）排気筒トップのまわりで使用しない
火災の原因になります。

必ず守る

オイルタンクや送油管の接合部などから油漏れがないことを確かめる
油漏れにより、火災の原因になります。

燃料

⚠警告

ガソリン厳禁

ガソリン厳禁
灯油（JIS 1 号灯油）を必ず使用してください。ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。
火災の原因になります。

⚠注意

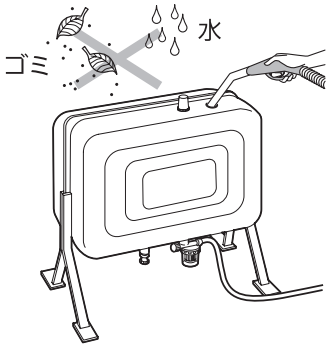
禁止

不良灯油（変質灯油・不純灯油）を使用しない
変質灯油（日光の当たる場所や温度の高い場所で保管して変質した灯油）や、不純灯油（灯油以外の油・水・ゴミなどが混入した灯油）などの不良灯油は使用しないでください。機器の故障の原因になります。

給油

給油の際の注意

- 必ずON/OFFスイッチを「切」にしてからおこなってください。暖房専用 の場合は暖房放熱器も停止してください。
- 水やゴミなどが入らないよう、特に注意してください。
- 給油が終わったあと、給油口のふたは確実に閉めてください。
- こぼれた灯油は、よくふき取ってください。



空気抜きの方法

オイルタンクを空にすると、送油配管内に空気が入り、次回使用するときに着火がスムーズにできなかったり、故障表示「11」「12」が出る場合があります。以下の手順で空気抜きをおこなってください。

1. 給油後、P9「運転開始前の準備と確認」をおこなう。
2. ON/OFFスイッチを「入」にする。
3. 給湯栓（お湯側）を開けて、お湯を出す。

手順2〜3の操作中、送油配管内の空気が抜けるまで機器から振動音が出ますが、異常ではありません。

燃焼ランプが点灯し、お湯になれば正常です

【故障表示「11」「12」が出る場合】
いったんON/OFFスイッチを「切」にして再度「入」にし、お湯を出す

5〜6回くりかえしても、故障表示が出て着火しないときは

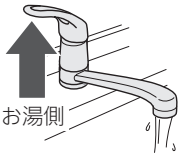
機器の不具合の可能性もあるため、お買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所に連絡してください。

運転開始前の準備と確認

1. 機器の排水栓を閉め、給水元栓を全開にする

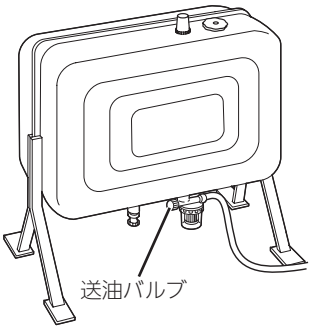
- 排水栓・給水元栓の位置はP10「各部のなまえとはたらき（機器本体）」をご覧ください。

2. 給湯栓を開けて連続して水が出ることを確認し、再度閉める（断続的に出る場合は、連続して出るまで水を出しっぱなしにする）



- 水が出ることを確認せずON/OFFスイッチを「入」にすると、貯湯槽が空だきの状態になる場合があり、故障の原因になります。

3. オイルタンクの送油バルブを全開にし、オイルタンクや送油管接合部などから油漏れがないか、確認する



4. 電源プラグを電源コンセントに差し込む

ぬれた手でさわらない

- 対震自動消火装置が自動的にセットされます。

お知らせ

- 初めてご使用になるときなどは、送油経路に空気が入って点火せず、リモコンに「11」「12」が点滅することがあります。この場合はON/OFFスイッチを「切」にし、3秒以上たってから再びON/OFFスイッチを「入」にしてください。

各部のなまえとはたらき（機器本体）

● イラストは施工例です。配管の形状、給水元栓・オイルタンク・電源コンセントの位置など実際と異なります。

① **排気筒**
燃焼した排気ガスを出します。

② **給気口**
⑨ **給気筒**
燃焼用の空気を吸い込みます。

③ **操作部カバー**
中に、本体操作部と能力切替スイッチ※1があります。（P11）

④ **減圧弁**※2

⑤ **給水元栓**※2

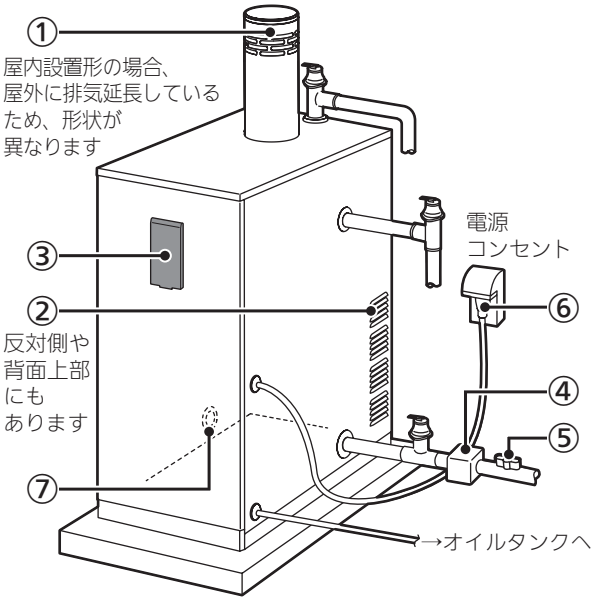
⑥ **電源プラグ**

⑦ **排水栓**※2

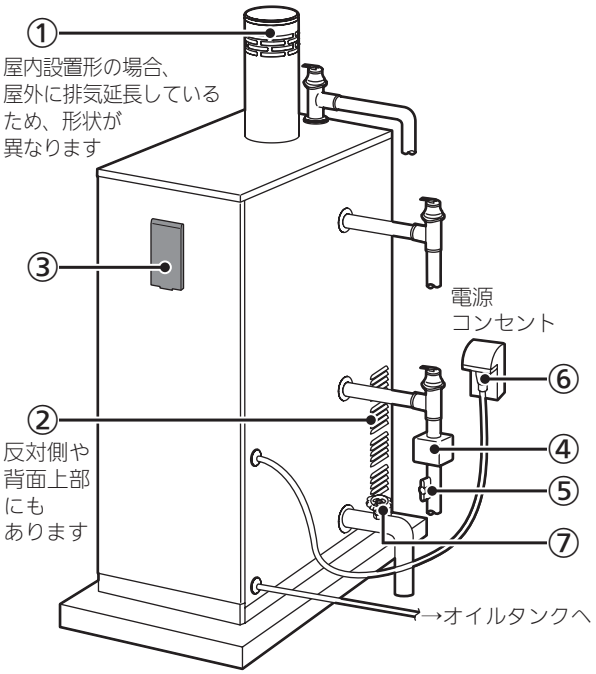
※1：ON-314シリーズの場合はありません。
※2：暖房専用 の場合はありません。

● 屋外設置形
● 屋内設置・強制排気形

ON-314

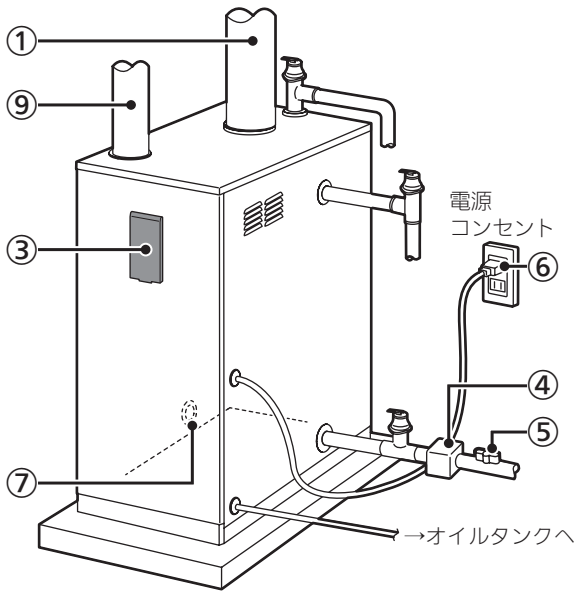


OD-434

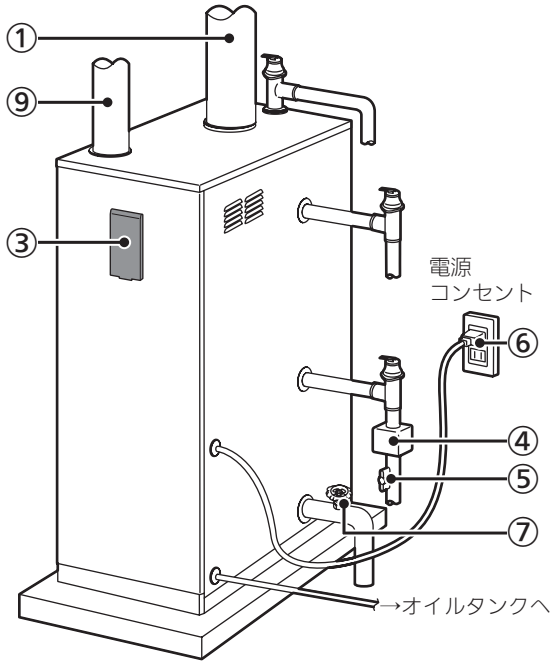


屋内設置・強制給排気形

ON-314F



OD-434F



操作部カバー内（本体操作部・能力切替スイッチ）

本体操作部

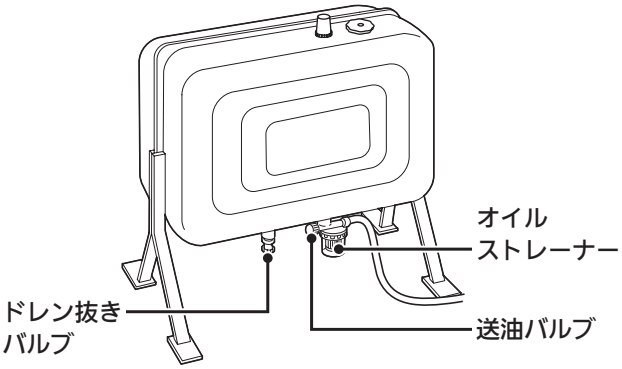
・機器とは別に設置されている場合があります。
・この取扱説明書では「リモコン」として説明しています。

【OD-434シリーズの場合】
能力切替スイッチ

「小」に切り替えると、機器の能力を抑えることができます。

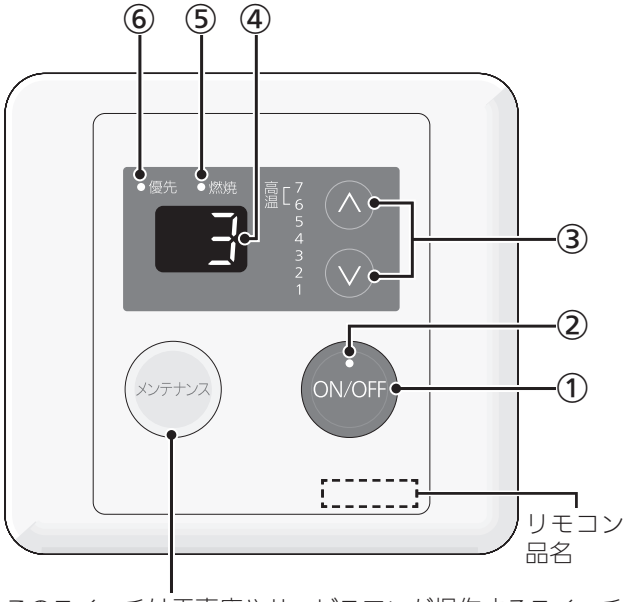
- 次のようなときに切り替えてください。
  - ・頻繁に燃焼と消火をくりかえしていて（燃焼ランプが点灯したり消灯したりする）、着火時の音が気になるとき
  - ・凍結予防運転時の騒音が気になるとき
- 能力を切り替えると給湯量が変化します。能力大・小の給湯量の違いは、P14「給湯量と給湯温度の早見表」をご覧ください。

オイルタンク



各部のなまえとはたらき（リモコン）

- リモコン品名：RC-80, RC-81
- 本取扱説明書では、本体操作部もリモコンとして説明しています。
- スイッチを押すと操作音が鳴り、設定温度を高温の「6」「7」にすると「ピピッ、ピピッ、ピピッ」と鳴ってお知らせします。
- 下記の表示画面は説明用です。実際は、運転の状態によって表示が異なります。



このスイッチは工事店やサービスマンが操作するスイッチのため、通常はさわらないでください。万が一誤って操作しても、機器には影響ありませんのでご安心ください。

① **ON/OFFスイッチ**
運転の「入」「切」に。

② **ON/OFFランプ**
・ON/OFFスイッチを「入」にすると点灯。機器と暖房放熱器が連動している場合（P16）、ON/OFFスイッチが「切」でも、暖房放熱器の運転を「入」にすると点灯します。
・不具合が生じたときに点滅。（P28）

③ **設定スイッチ**
お湯（または暖房水）の温度の設定に。（P14）

④ **設定温度表示**
設定温度より貯湯槽のお湯（または暖房水）の温度の方が約10℃以上高い場合、設定温度表示の前に「H」を表示し「ピピッ、ピピッ、ピピッ」と鳴ってお知らせします。（P14）

（表示例）

故障表示
不具合が生じたときに点滅。（P28）

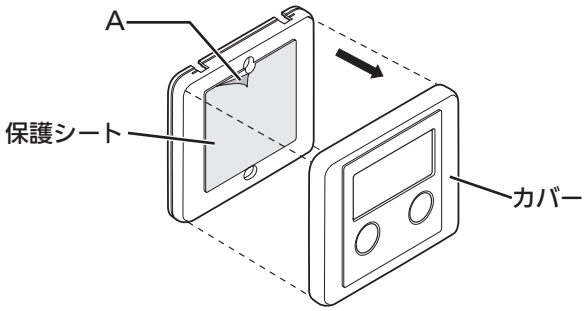
⑤ **燃焼ランプ**
燃焼中に点灯。

⑥ **優先ランプ**
・優先ランプ点灯中は温度を変更できます。
・ON/OFFスイッチを押すことでランプの点灯・消灯を切り替えることができます。
・不具合が生じたときに点滅。（P28）

リモコン表面の保護シートは取り外せます

- 保護シートを外す場合は、下記の手順でおこなってください。（保護シートは外してある場合もあります）

1. カバーを外す。
2. リモコンの表面の保護シートを下図A部分よりはがして取り外す。
3. カバーを元どおり取り付ける。



リモコン操作音の消しかた（鳴らしかた）

手順

1. ON/OFFスイッチを「切」にする
2. ON/OFFスイッチを長押し（約5秒間）する
   - 「リモコン操作音を鳴らす」設定にすると「ピッ」となります。（「リモコン操作音を消す」設定にした場合は、変更できても音は鳴りません）
   - リモコン操作音の設定後は、ON/OFFスイッチ「入」になります。

お知らせ
- 「H」を表示したときや、設定温度を「6」「7」にした場合のお知らせ音は、操作音を消しても鳴ります。

給湯専用 の場合

お湯を出す

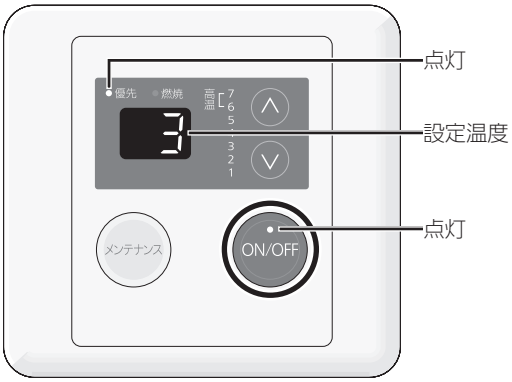
⚠警告

高温注意	**シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する** やけど予防のため。 ・「6」「7」の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。 ・お湯の使いはじめは正常な温度でも、使用中に熱くなる場合があります。熱いお湯が出た場合は、すぐに使用を中止してください。なお、使用中にお湯が熱くなる状態が続く場合は機器故障の可能性がありますので、お買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所にご連絡ください。 ・夏場などの水温が高いときやお湯の量を絞って使ったとき、設定温度より高い温度のお湯が出る場合は、湯量を増やしたり水を混ぜたりしてから湯温を確認して使用してください。
高温注意	**浴槽の湯温を手で確認してから入浴する** やけど予防のため。
高温注意	**設定温度に関係なく、給湯栓から高温のお湯が出る場合があります** 高温から低温に設定温度を下げても、高温のお湯が貯湯槽に残っています。しばらくは高温のお湯が出るので、注意してください。
禁止	**シャワー使用時に使用者以外が、リモコンの温度を変えたり、ON/OFFスイッチを「切」にしたりしない** 高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたりON/OFFスイッチを「切」にされたりすると、冷水になって使用者が驚く原因になります。

手順

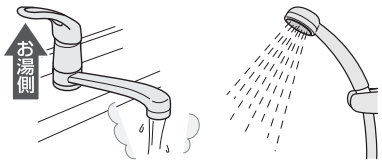
1. **ON/OFFスイッチを「入」にし、設定温度を確認する**

（表示例）



- 参照：P14「お湯（または暖房水）の温度を調節する」

2. **給湯栓を開ける または シャワーを出す**



- 表示の温度をよく確かめてから使用してください。「6」「7」の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。
- お湯の使用量や水を混ぜる量などにより、お湯の温度が変化することがあります。

お湯を止めたいとき

給湯栓を閉める または シャワーを止める

（つづく）

■ 給湯量と給湯温度の早見表

- ここでの給湯量は、機器から出湯できる最大量を記載しています。（実際の給湯栓から出る最大量とは異なる場合があります）

【ON-314シリーズの場合】

	給湯量（L／分）		
給湯温度	水温8℃［ 冬期 ］	水温18℃［ 春･秋期 ］	水温28℃［ 夏期 ］
40℃	16.6	24.2	44.3
50℃	12.7	16.6	24.2
60℃	10.2	12.7	16.6
80℃	7.4	8.6	10.2

【OD-434シリーズの場合】

	給湯量（L／分）					
給湯温度	水温8℃［ 冬期 ］		水温18℃［ 春･秋期 ］		水温28℃［ 夏期 ］	
	能力大	能力小	能力大	能力小	能力大	能力小
40℃	22.7	18.8	33.0	27.4	60.6	50.2
50℃	17.3	14.3	22.7	18.8	33.0	27.4
60℃	14.0	11.6	17.3	14.3	22.7	18.8
80℃	10.1	8.4	11.7	9.7	14.0	11.6

お知らせ

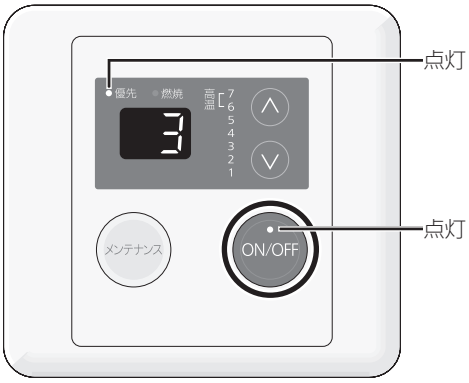
- 燃焼ランプが点灯したり消灯したりする（断続的に燃焼と消火をくりかえす）のは、貯湯槽のお湯（または暖房水）の温度を一定に保つためです。貯湯槽のお湯（または暖房水）の温度が下がると自動的に燃焼し、適温になれば自動的に停止します。
- ON/OFFスイッチを「入」にし、すぐに給湯栓を開けても、貯湯槽のお湯が充分にあたたまっていない場合は、設定した温度のお湯にならないことがあります。そのときは給湯栓をいったん閉めてしばらく待ったあと、使用してください。それでもお湯にならない場合は、灯油がなくなっていないか確認してください。

お湯（または暖房水）の温度を調節する

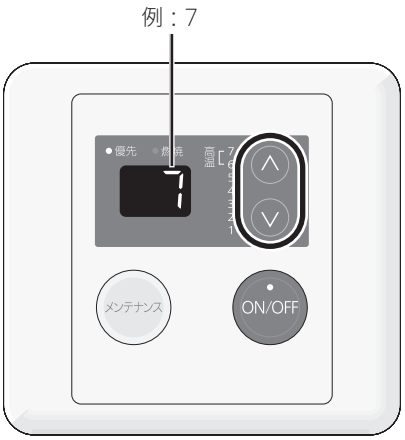
手順

1. ON/OFFスイッチを「入」にする

（表示例）



2. 設定スイッチで、お湯（または暖房水）の温度を調節する



設定温度表示の前に「H」の表示が出て、「ピピッ、ピピッ、ピピッ」と鳴るときは

設定温度より貯湯槽のお湯（または暖房水）の温度の方が約10℃以上高い場合（設定温度を下げたときなど）に、「H」の表示が出ます。お湯の使用時には充分ご注意ください。

（表示例）

■ お湯（または暖房水）の温度の目安

7	あつい（約83℃）
6	
5	
4	（約40℃）
3	
2	
1	ぬるい（約13℃）

「6」「7」に設定すると
設定温度表示が
約10秒間点滅→点灯し
「ピピッ、ピピッ、ピピッ」
と鳴ってお知らせ

※初期設定（工場出荷時）＝「3」

- 「1」「2」に設定すると、水温によっては燃焼しない場合があります。
- 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。
- 【 暖房専用 の場合】
  - ・暖房水の適切な温度は使用用途によって異なります。施工業者さまとご相談のうえ、温度を調節してください。
  - ・お使いになる暖房放熱器の種類・数、季節などにより、暖房水の温度を調節してください。

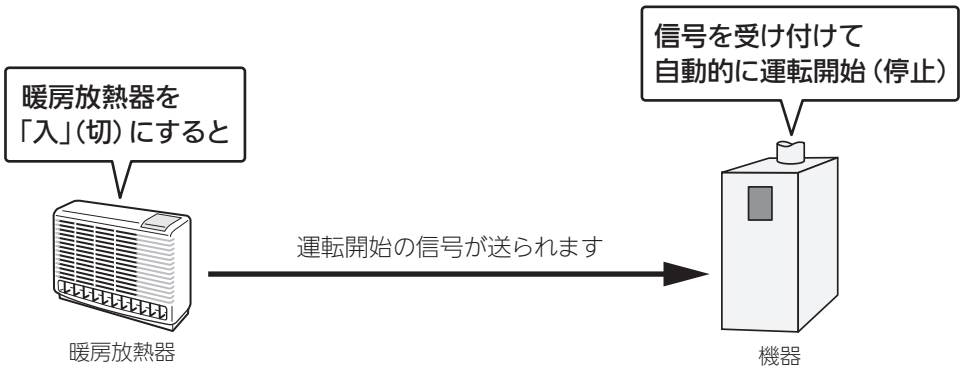
暖房専用 の場合

機器と暖房放熱器の連動について

● 暖房放熱器の種類や、機器と暖房放熱器との接続状態によって、操作や機器の動きが異なります。

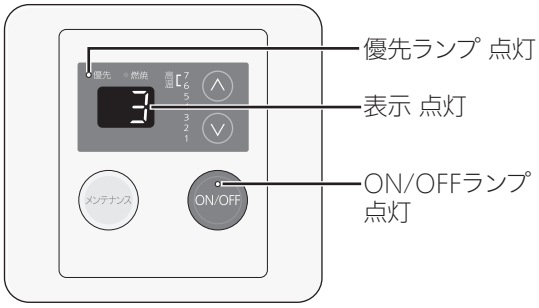
機器と暖房放熱器が連動している場合

暖房放熱器の運転スイッチを「入（切）」にすると暖房が開始（停止）する場合、機器と暖房放熱器が連動しています。



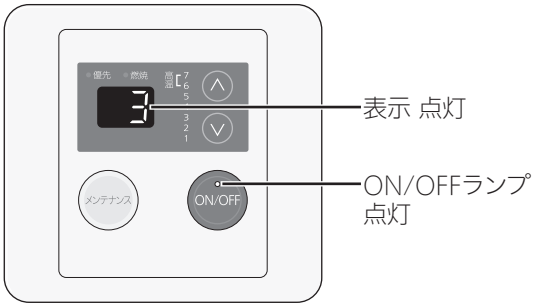
リモコンの表示・ランプについて

ON/OFFスイッチが「入」のときは
暖房放熱器の「入」「切」にかかわらず、
以下のランプ・表示が常に点灯しています。



（表示例）

ON/OFFスイッチが「切」のときに
暖房放熱器を「入」にすると、
以下のランプと表示が点灯します。

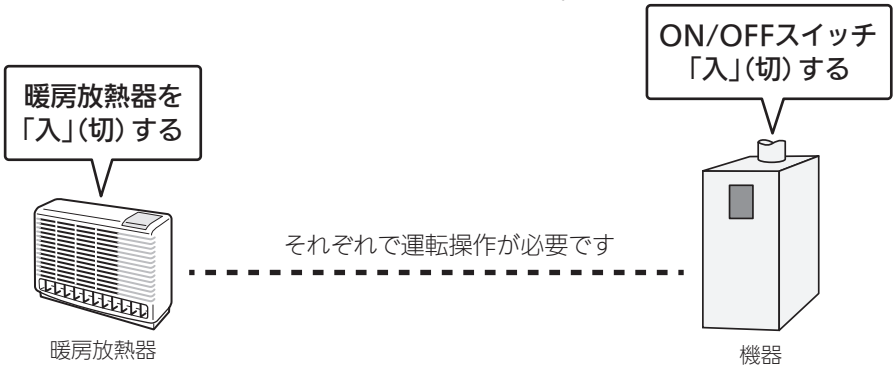


（表示例）

- 暖房水の温度は変更できません。
- 暖房放熱器を「切」にすると消灯します。

機器と暖房放熱器が連動していない場合

- 暖房放熱器の運転スイッチを「入」にしても暖房できない場合や、運転スイッチがない場合（パネルヒーターなど）は、機器と暖房放熱器は連動していません。
- ON/OFFスイッチ「切」時に暖房放熱器を「入」にしても、ON/OFFランプや表示は点灯しません。



暖房専用 の場合

暖房する

● お使いの暖房のしくみによって操作が異なります。P16をご確認のうえ、必要な項目をお読みください。

機器と暖房放熱器が連動している場合

準備

電源を入れてから初めて使うときや、停電からの復帰後に初めて使うときは、ON/OFFスイッチを「入」にする

● 必要に応じて、暖房水の温度を調節してください。（P14）

手順

1. 暖房放熱器の運転スイッチを「入」にする

● パネルヒーターが併設されている場合は、パネルヒーターのバルブを開けておくと同時に暖房します。

2. 必要に応じて、暖房放熱器の温度などを調節する

● 暖房放熱器の調節方法などについては、暖房放熱器側の取扱説明書に従ってください。

暖房をやめたいとき

暖房放熱器の運転スイッチを「切」にする

お知らせ

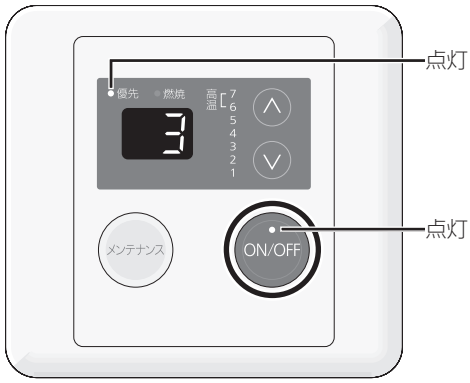
● 燃焼ランプが点灯したり消灯したりする（断続的に燃焼と消火をくりかえす）のは、貯湯槽のお湯（または暖房水）の温度を一定に保つためです。貯湯槽のお湯（または暖房水）の温度が下がると自動的に燃焼し、適温になれば自動的に停止します。

機器と暖房放熱器が連動していない場合

手順

1. ON/OFFスイッチを「入」にする

（表示例）



2. 必要に応じて、暖房水の温度を調節する

● 参照：P14「お湯（または暖房水）の温度を調節する」

3. 暖房放熱器に運転スイッチがある場合は、運転スイッチを「入」にする
またはパネルヒーターのバルブを開ける

4. 必要に応じて、暖房放熱器の温度などを調節する

● 暖房放熱器の調節方法などについては、暖房放熱器側の取扱説明書に従ってください。

暖房をやめたいとき

①暖房放熱器に運転スイッチがある場合は、運転スイッチを「切」にする
　またはパネルヒーターのバルブをゆっくり閉める
②ON/OFFスイッチを「切」にする
《 ON/OFFランプ消灯 》

お知らせ

● 燃焼ランプが点灯したり消灯したりする（断続的に燃焼と消火をくりかえす）のは、貯湯槽のお湯（または暖房水）の温度を一定に保つためです。貯湯槽のお湯（または暖房水）の温度が下がると自動的に燃焼し、適温になれば自動的に停止します。

凍結による破損を予防する

- あたたかい地域でも、機器や配管内の水が凍結して機器が破損することがあります。破損事故を予防するために、以下をお読みいただいて必要な対策をしてください。
- 凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

【暖房専用の場合】暖房回路の凍結予防

- 弊社指定の不凍液を入れておいてください。

【給湯専用の場合】給湯回路の凍結予防

対策1 通常の寒さのとき

①給湯栓を閉める
②リモコンのON/OFFスイッチを「入」にする
③設定温度を、リモコンに記載されている凍結予防運転時の温度に変更する

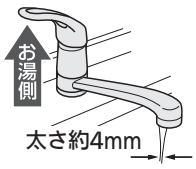
※配管や給水元栓などは予防できません。必ず保温カバーや電気ヒーターで予防してください。（わからないときは、お買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所に確認してください）

対策2

- 低温注意報が発表されたとき
- 外気温が極端に低いとき（−15℃以下）
- −15℃より高くても風があるとき

①リモコンのON/OFFスイッチを「切」にする
②送油バルブを閉める
③給湯栓から水を流したままにする

- 約30分後に、流れる量を確認する。
- サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合は、最高温度側にしてください。（次に使うとき、忘れずに戻してください）



- 結露現象予防として、ON/OFFスイッチ「切」の状態で給湯栓から水を出さないようにお願いしていますが(P4)、凍結予防の処置の場合は問題ありません。

機器の水抜き

- 対策1または2をしても凍結するおそれのあるとき
- 長期間使用しないとき

大寒波が到来しそうなときや、長期間使用しないときは、機器の水抜きをお願いします。

水抜きの方法は P19の手順でおこなってください

凍結したまま使うと故障の原因に！

凍結して、お湯や水が出なくなったら

- まずリモコンのON/OFFスイッチを「切」にしてください。（「切」にしないと燃焼する場合があります）
  気温が上がり自然に解凍するまで待つことをおすすめします。水が出るようになったら、水漏れがないか確認します。
- すぐに使いたいときは、
  ①リモコンのON/OFFスイッチを「切」にする
  ②給湯栓を少し開ける
  ③給水元栓が回るかどうか確認する

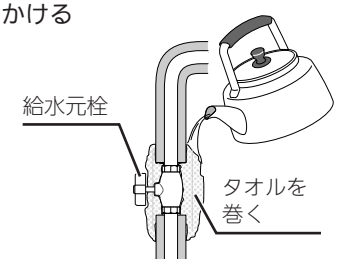
給水元栓は回るのに水が出ないときは

給水元栓以外の場所が凍っています。
給水元栓を閉め、自然解凍を待つか、お買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所にご連絡ください。

給水元栓が凍結して回せないときは

タオルなどの布を給水元栓のまわりに巻き、30℃〜40℃程度のぬるま湯をゆっくりかける

- 必要に応じて、床面などがぬれないように処置をしてください。
- 熱湯をじかにかけると配管が破裂するおそれがあります。また、配管以外（電源プラグやコード、電源コンセント）にお湯がかからないように注意してください。



給水元栓が回るようになれば解凍できたので、給湯栓を閉めてください。

- タオルを外し、給水元栓のまわりについた水を乾いた布でふき取ってください。また、機器や配管から水漏れがないかよく確認してから使用してください。
- 今後凍結しないように、給水元栓まわりに保温材を巻くなどの処置をご検討ください。
  （わからないときは、お買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所にご確認ください）

長期間使用しないとき

【暖房専用の場合】

- 1か月に1回程度、ON/OFFスイッチを「入」にし、燃焼ランプが点灯していることを確認したあと、約1〜2分後「切」にしてください。
  この操作をおこなわないと、送油経路内の灯油の変質や機器の故障の原因になります。
  ※機器と暖房放熱器の連動の設定によっては、ON/OFFスイッチの「入」だけでは燃焼ランプが点灯しない場合があります。その場合は、暖房放熱器の運転スイッチも「入」にしてください。

【給湯専用の場合】
水抜きのしかた

- 給湯回路の水抜きが必要です。

⚠注意

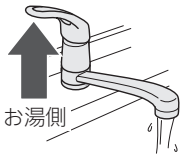
必ず守る

機器の水抜きをする場合、ON/OFFスイッチを「切」にする
暖房専用 の場合は暖房放熱器も停止する
やけど予防のため。ON/OFFスイッチ「切」後も、貯湯槽のお湯(または暖房水)が熱くなっているため、気をつけて作業してください。

※P20のイラストを参照してください。

手順

1. **ON/OFFスイッチを「切」にする**
2. **送油バルブ(P11)を閉める**
3. **機器の電源プラグを抜く**
   ぬれた手でさわらない
4. **給水元栓1を閉める**
5. **排水栓2を開ける**
6. **すべての給湯栓を全開にする**



7. **逃し弁3 4 5を開ける**
8. **排水栓・逃し弁から水が出なくなったことを確認したら、排水栓・逃し弁・すべての給湯栓を閉める**

水抜き後の再使用のとき

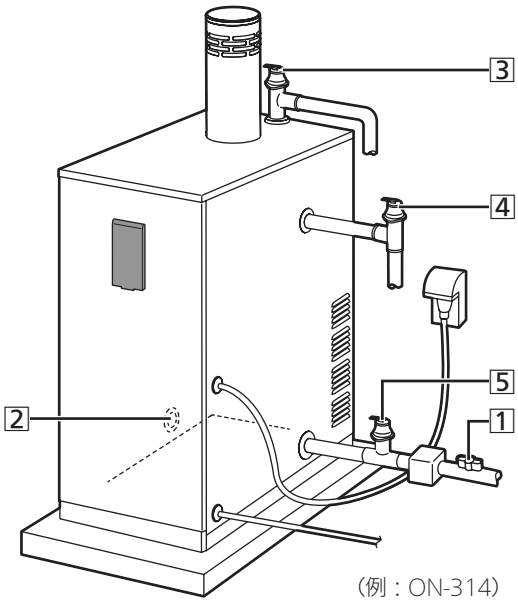
①排水栓・逃し弁・すべての給湯栓が確実に閉まっていることを確認する
②給水元栓を開ける
③すべての給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉め、機器や配管から水漏れがないかよく確認する
④送油バルブを開け、電源プラグを電源コンセントに差し込む ぬれた手でさわらない

(つづく)

給水元栓・排水栓・逃し弁の位置
（保温材などで見えにくいことがあります）

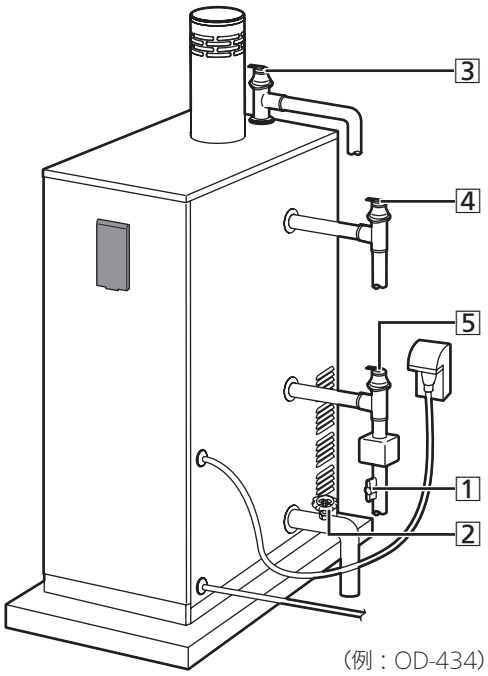
逃し弁3 4 5
つまみを止まる位置まで上げる

ON-314, ON-314F



（例：ON-314）

OD-434, OD-434F



（例：OD-434）

日常の点検・お手入れのしかた

●点検・お手入れは定期的におこなってください。

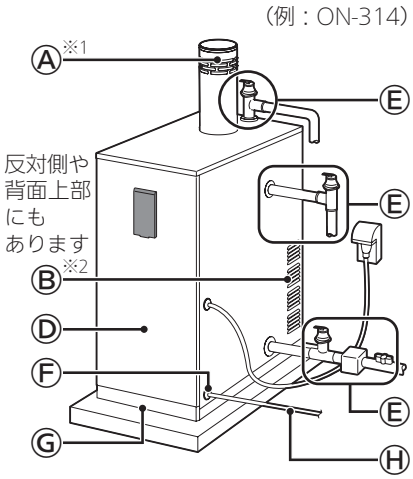
⚠注意

必ず守る

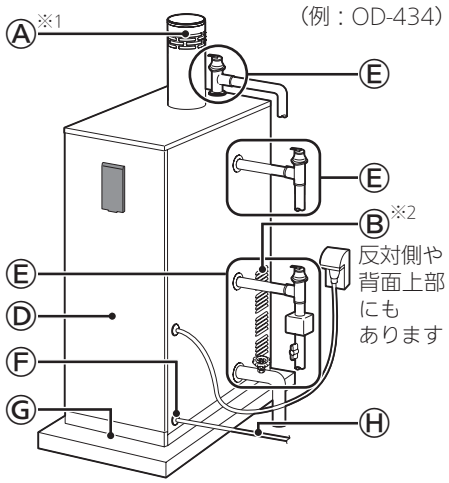
機器の点検・お手入れをする場合、ON/OFFスイッチを「切」にする
暖房専用 の場合は暖房放熱器も停止する

やけど予防のため。ON/OFFスイッチ「切」後も、貯湯槽のお湯（または暖房水）が熱くなっているため、気をつけて作業してください。

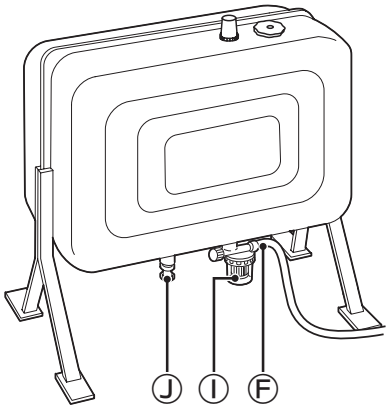
ON-314, ON-314F



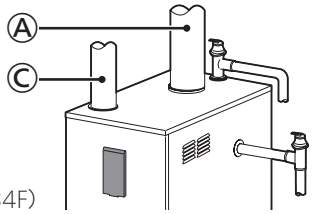
OD-434, OD-434F



オイルタンク



屋内設置・強制給排気形の場合は、
給気筒と排気筒を屋外に延長しています



（例：OD-434F）

※1：屋内設置・強制排気形の場合、屋外に排気延長しているため、形状が異なります。
※2：屋内設置・強制給排気形の場合はありません。

点検

給気口・（給）排気筒トップがホコリなどでふさがっていないか？ →ⒶⒷⒸ

ふさがっている場合は、掃除する。

点検

機器外装に異常な変色はないか？ →Ⓓ

現象があった場合は、お買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所に連絡する。

点検

機器や（給）排気筒トップのまわりに洗濯物・新聞紙・木材・スプレー缶など、燃えやすいものを置いていないか？

燃えやすいものを置かない。

点検

- **機器から異常音が聞こえないか？**
- **機器・配管から水漏れはないか？ →Ⓔ**

現象があった場合は、「故障・異常かな？と思ったら」の「機器全般」（P27）を確認する。それでもなおおかしいときは、お買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所に連絡する。

点検

オイルタンクや送油管の接合部などから油漏れがないか？ →Ⓕ

油漏れがあった場合は、ON/OFFスイッチを「切」にし、オイルタンクの送油バルブを閉めてから、お買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所に連絡する。

（つづく）

点検

【屋内設置形の場合】
排気筒や給排気筒(管・ホース)が正しく接続されているか、または穴があいていないか? →ⒶⒸ

現象があった場合は、お買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所に連絡する。

点検

機器外装の下部周辺などにサビや穴開きはないか? →Ⓖ

現象があった場合は、お買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所に連絡する。

※海に近く潮風が当たりやすい地域の場合、潮風によって、機器本体および配管接続部にサビが発生する場合があります。サビがひどい場合は、機器本体内部への影響も考えられますので、点検(有料)をおすすめします。

点検

【屋内設置形の場合】
ゴム製送油管にひび割れや亀裂がないか? →Ⓗ
(ひび割れや亀裂が見た目上ないときは、ゴム製送油管を少し曲げて確認する)

ひび割れや亀裂があった場合は、お買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所に交換を依頼する。(ゴム製送油管は時間とともに劣化するため、3年に1回は交換することをおすすめします)

点検

オイルタンクのドレン抜きバルブから油漏れがないか? →Ⓙ

【油漏れがあった場合】
①オイルタンク下部のドレン抜きバルブの下に、灯油を受ける容器を置く。
②ドレン抜きバルブを開け、約10〜20mL排水する。
③しっかりとドレン抜きバルブを閉める。(出た灯油にゴミや異物が混じっていなければ、灯油をオイルタンクへ戻してください)
※しばらく様子を見て、それでも漏れるようであれば、お買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所にご連絡ください。

点検

【屋内設置・強制排気形の場合】
建物の給気口が、ホコリ・ゴミなどでふさがっていないか?

ふさがっている場合は、掃除する。

お手入れ　外装の汚れ →Ⓓ

ぬれた布で落としたあと充分水気をふき取ってください。特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。

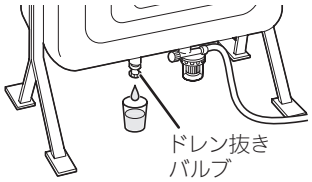
お手入れ　リモコン

リモコンの表面が汚れたときは、湿った布で軽くふいてください。

お手入れ　オイルタンク →Ⓙ

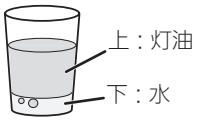
オイルタンクに水が混じると、オイルタンク内部のサビ発生や不完全燃焼の原因になるため、定期的に水抜きをしてください。

①オイルタンク下部のドレン抜きバルブの下に、灯油を受ける口の広い透明の容器を置く。



②ドレン抜きバルブをゆっくり開け、約200mL排水する。
③容器にたまった液体が分離していれば、灯油に水が混じっているので一度容器を空にし、再度約200mL排水する。これを、分離しなくなるまでくりかえす。
※分離していなければ、水は混ざっていません。

<分離している状態>

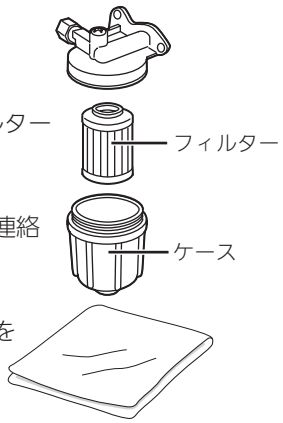


④水抜きが完了したら、ドレン抜きバルブを閉める。
出た灯油にゴミ・異物が混ざっていなければ、灯油をオイルタンクへ戻す。

お手入れ　オイルストレーナー →①

オイルタンクのオイルストレーナーにゴミや水がたまるので、定期的に掃除をしてください。
※方法がわからない場合は、お買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所にご相談ください。
※機器内のオイルストレーナーは、お客さまでは掃除できません。定期的にお買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所に点検を依頼してください。

①オイルタンクの送油バルブを閉じる。
②オイルストレーナーの下に、送油経路内の灯油を受ける布などを用意する。
③ケースを左に回して外す。
④フィルターを下に引き外し、灯油で洗う。
（汚れのひどいときはフィルターの交換（有料）が必要です。お買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所にご連絡ください）
⑤元どおり取り付ける。
⑥オイルタンクの送油バルブを開ける。
⑦油漏れのないことを確認する。



定期点検（有料）

長期間ご使用になると、機器の点検が必要です。
機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度点検を受けることをおすすめします。
点検はお近くのネポン営業所またはカスタマーセンターまたは修理資格者［日本石油燃焼機器保守協会（TEL 03-3499-2928）でおこなう技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）など］のいる店などにご相談ください。

暖房専用 の場合

暖房水の交換について

- 暖房水には、必ず弊社指定の不凍液をご使用ください。
- 不凍液は3年に1度交換してください。交換せずに使用された場合は、防サビと凍結予防の効果がなくなり、機器や暖房放熱器が破損するおそれがあります。交換の際は、お買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所にご相談ください。

部品交換のしかた

部品の交換は必ず純正部品を使用してください。また故障やおわかりにならないことがありましたらお買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所に相談していただき、修理資格者［日本石油燃焼機器保守協会（TEL 03-3499-2928）でおこなう技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）など］の修理をお受けください。

＜使用方法などによっては、故障する可能性のある部品＞

不良灯油（変質灯油・不純灯油）・水が混入した灯油の使用により、故障する可能性のある部品	電磁ポンプ、ノズル、オイルストレーナー
水の析出物により、故障する可能性のある部品	過圧防止弁

ON-314シリーズの場合

法定点検について

お買い上げいただいた製品は、消費生活用製品安全法（消安法）の長期使用製品安全点検制度で指定された特定保守製品です。

特定保守製品とは

「消費生活用製品のうち、長期間の使用に伴い生ずる劣化（経年劣化）により安全上支障が生じ、一般消費者の生命又は身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況等からみてその適切な保守を促進することが適当なもの（消安法第2条第4項）」として指定された製品です。

法定の点検期間になったら点検を受けてください

- 特定保守製品は、経年劣化による重大事故を防止するために、設計標準使用期間に基づいて製品ごとに設定された点検期間中に点検を受けることが、製品の所有者の責務として求められています（消安法第32条の14）。本製品に表示している点検期間になりましたら、必ず点検を受けてください。（点検は有料です）
- なお、法定点検の後もご使用を継続する場合には、こまめに点検を受けることが本製品を安全にお使いいただくために必要となりますので、ご注意ください。
- 法定点検は、その時点で点検基準に適合しているかどうかの確認であって、その後の安全を担保するものではありません。

法定の所有者登録をしてください

- 特定保守製品の所有者は、この製品の製造（輸入）事業者に法定の所有者登録をすることが求められています（消安法第32条の8第1項）。
  製品に同梱している「所有者票」に記載している《所有者登録の方法》に従って、ご登録をお願いします。
- ご登録いただいた所有者情報は、消安法、個人情報保護法および当社規定により適切な安全対策のもとに管理し、法定点検やリコール等の製品安全に関するお知らせをする場合以外には使用いたしません。

登録していただいた所有者情報に変更がありましたらご連絡ください

- 所有者情報に変更があった場合、この製品の製造（輸入）事業者に変更の連絡をすることが求められています（消安法第32条の8第2項）。
  引っ越しなどで所有者情報に変更がありましたら、速やかに「所有者票」に記載している《所有者登録の方法》に掲げる問合せ連絡先にご連絡ください。
  ご連絡いただかない場合、法定点検やリコール等の製品安全に関するお知らせが正しく届かないことがあります。

法定の点検通知をいたします

- 法定の所有者登録をしていただいた方に、登録情報に基づいて点検期間の開始前に法定の点検通知をいたします（消安法第32条の12）。
- 点検期間については、製品本体の表示、もしくは製品に同梱している「所有者票（お客さま控え）」をご覧ください。

【本製品の設計標準使用期間について】

本製品は、設計標準使用期間※を3年と算定しており、適切な点検をすることなく、この期間を超えて使用すると、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

※設計標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理がおこなわれた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品ごとに設定されるものです（消安法第32条の3）。
「無料修理保証期間」とは異なるのでご注意ください。
（無料修理保証期間は無料修理保証書を参照願います）

＜設計標準使用期間の算定の根拠＞

本製品の設計標準使用期間は、次のように設定しています。

1）始期・・・製造年月

2）終期・・・日本ガス石油機器工業会規格JGKAS A 201の「標準使用条件」に基づいて想定した次の使用条件にて、当社において耐久試験等をおこない、その結果算出された数値等に基づいて、「経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないこと」を確認した時期

■使用条件（給湯）

項目	条件
1日給湯回数	300回／日
給湯1回の使用時間	1分／回
1日給湯使用時間	10時間／日
季節	中間期（春・秋）
気温・湿度	20℃・65%
電源電圧・周波数	AC100V・50／60Hz
給水温度	15℃
出湯温度	機器設定最高温度

※「使用条件」は、弊社における代表的な製品の条件を記載しています。製品によっては使用条件が異なります。

＜ご注意ください＞
使用頻度・使用環境（使用水質含む）・設置場所が標準的な使用条件と異なる場合、または、本来の目的以外の方法で使用された場合は、本体に記載の設計標準使用期間よりも短い期間で経年劣化が起きる可能性があります。これに該当するような場合は、「本製品の点検等に関するお問い合わせ先」にご連絡ください。

点検について

法定点検は、ネポンまたはネポンが委託した事業者が行います。

【点検の内容について】
- 特定保守製品について、点検期間中に点検基準に従って実施する有料の法定点検です。
- 点検基準は消安法省令に定められており、製品区分ごとに点検項目・点検内容が定められています。
- 点検の結果は、点検結果表にてお知らせします。
- 点検の結果、不適合となった場合には可能な限りの選択肢をお知らせします。この場合、整備（修理を含む）をおこなって使用を継続するかどうかはお客さまの判断となります。

【点検の料金について】
点検料金は、お客さまにご負担いただきます。また、点検の結果、整備が必要となった場合は、別途整備費用（有料）が発生いたします。
点検料金は技術料、出張料などを合計した金額となります。

なお、点検料金の設定の基準等については、下記のアドレスからご覧いただけます。
https://www.nepon.co.jp/tokutei/legal.html
インターネットでご確認できない場合は、「本製品の点検等に関するお問い合わせ先」にご連絡ください。

【本製品の点検の結果必要となると見込まれる整備用部品の保有期間】
整備用部品とは、法定点検の結果、不備が認められた場合に、安全性を確保（回復）させるために必要な部品であり、補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）とは異なります。

（1）点火・消火装置に関する部品：製造打切後11年
点火プラグ・イグナイター・フォトICダイオード
（2）水・湯・燃料通路に関する部品：製造打切後11年
サーミスター・パッキン・Oリング
（3）安全装置に関する部品：製造打切後11年
感震器・ハイリミットスイッチ・温度ヒューズ
※補修用性能部品の保有期間は「アフターサービス」の項をご覧ください。

本製品の点検等に関するお問い合わせ先
ネポン株式会社　カスタマーセンター
Tel:（046）247−3195

【本製品の日常的におこなうべき点検・お手入れ】
P21「日常の点検・お手入れのしかた」に従って、おこなってください。

【任意の定期点検について】
P23をご覧ください。

故障・異常かな？と思ったら

絵表示の説明

- ? こんなときは（状況）
- ■ こんなことが考えられます（原因）
- ➡ こうしてください（処置）

お湯・シャワー

? 給湯栓を開いてもお湯が出てこない、お湯にならない

- ■ リモコンに英数字が点滅していないか確認する。
  ➡点滅していれば、P28「リモコンに英数字が点滅しているとき＜故障表示＞」を確認し、必要な処置をする。
- ■ オイルタンクの送油バルブ・給水元栓が全開になっていない。
  ➡送油バルブ・給水元栓を全開にする。
- ■ 断水している。
  ➡復旧を待つ。
- ■ 給湯栓が充分開いていない。
  ➡給湯栓を充分に開ける。
- ■ 灯油がなくなっている。
  ➡灯油を補充し、ON/OFFスイッチを「切」「入」する。
- ■ 凍結している。
  ➡P18「凍結して、お湯や水が出なくなったら」を確認し、必要な処置をする。
- ■ 送油経路に空気が残っている。
  ➡空気抜きをする。（P9）
- ■ ON/OFFスイッチを入れてすぐに給湯栓を開けても、貯湯槽のお湯が充分にあたたまっていない場合、設定温度のお湯にならないことがあります。
  ➡給湯栓をいったん閉めてしばらく待った後、使用する。

? お湯がぬるい

- ■ お湯を出しすぎると、しくみ上、お湯の温度が下がることがあります。
  ➡給湯栓をもっと絞ってお湯の量を減らすと、お湯の温度は安定します。

? 設定温度より熱いお湯が出る

- ■ 設定温度を下げても、貯湯槽に高温のお湯が残っていると、しばらくは高温のお湯が出ます。
  ➡異常ではありません。

? お湯が白くにごって 見える

- ■ 水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、細かい泡となって出てくる現象で、無害なものです。
  ➡異常ではありません。

? 給湯栓から出るお湯の量が変化する

- ■ お湯を使用中に、他の場所でお湯を使用すると、お湯の量が減る場合があります。
  ➡異常ではありません。
  他の場所での使用をやめると、元に戻ります。
- ■ 水道の圧力や配管条件によっては、お湯の量が変化する場合があります。また、水栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、お湯の量が変化するものがあります。
  ➡異常ではありません。

? 特定の給湯栓から出るお湯の量が少ない、ぬるい

- ■ 他の給湯栓では問題なくお湯を使用できる場合は、対象の給湯栓が故障している可能性があります。
  ➡対象の給湯栓の水栓メーカーに連絡する。

【暖房専用の場合】暖房

? 暖房しない、暖房があたたまらない

- ■ リモコンに英数字が点滅していないか確認する。
  ➡点滅していれば、P28「リモコンに英数字が点滅しているとき＜故障表示＞」を確認し、必要な処置をする。
- ■ オイルタンクの送油バルブが全開になっていない。
  ➡送油バルブを全開にする。
- ■ 灯油がなくなっている。
  ➡灯油を補充し、ON/OFFスイッチを「切」「入」する。
- ■ 送油経路に空気が残っている。
  ➡空気抜きをする。（P9）
- ■ 暖房放熱器の設定温度が合っていない。
  ➡暖房放熱器の設定温度を調節する。
- ■ 機器のリモコンの設定温度が合っていない。
  ➡機器のリモコンの設定温度を調節する。（P14）
- ■ 複数の暖房放熱器を同時に暖房しているときは、一時的に能力が下がる場合があります。
  ➡異常ではありません。

上記のいずれにも該当しない場合

お買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所にご連絡ください。

? 暑すぎる

- ■ 暖房放熱器の設定温度が合っていない。
  ➡暖房放熱器の設定温度を調節する。
- ■ 機器のリモコンの設定温度が合っていない。
  ➡機器のリモコンの設定温度を調節する。（P14）

ファンコンベクターや浴室暖房乾燥機などから温風が出ない、または温風が出たり止まったりする

■ 機器のリモコンの設定温度が「5」以下のときに、ファンコンベクター・浴室暖房乾燥機を使用すると、ファンコンベクター・浴室暖房乾燥機の冷風防止機能がはたらいて、温風が出たり止まったりする場合があります。
➡異常ではありません。

床暖房に関する内容はこちらからご覧ください。

機器全般

(給)排気筒トップから湯気(白い煙のようなもの)が出る

■ 冬に吐く息が白く見えるように、排気ガスの水蒸気が白く見えます。
➡異常ではありません。

機器の逃し弁(位置→P20)や過圧防止弁から水漏れしている

■ 機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置がはたらき、逃し弁や過圧防止弁からお湯が出ることがあります。
➡異常ではありません。

運転中にときどき「カチッ」という音がする

■ しくみ上、音が出ます。
➡異常ではありません。

使用していないのに音がする

■【運転を停止しても、しばらくのあいだ機器からファンの回転音(ブーン)がする場合】
再使用時の点火をより早くするために、機器が作動している音です。
➡異常ではありません。

水が青く見える
浴槽や洗面台が青く変色した

■ 水中に含まれる微量の銅イオンと、人体のアカやせっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、浴槽や洗面台が青く着色することがあります。
➡こまめに掃除をして湯アカやせっけん成分を洗い流すことで、これを予防できます。

リモコンに関すること

ON/OFFランプが点灯しない

■ 電源プラグが抜けている。
➡電源プラグを確認する。

燃焼ランプが点灯したり、消灯したりする
お湯を使っていないのに燃焼する

■ 貯湯槽のお湯(または暖房水)の温度を一定に保つために、断続的に燃焼と消火をくりかえすことがあります。
➡異常ではありません。

■ 凍結予防をしている。
➡異常ではありません。

ON/OFFスイッチを押してもON/OFFランプが消えない、消してもすぐに点灯する

■【暖房専用の場合】
暖房放熱器から運転しているときは、ON/OFFランプは消えません。
➡異常ではありません。

ON/OFFスイッチを「入」にしていないのに、表示部・ON/OFFランプが点灯している

■【暖房専用の場合】
機器と暖房放熱器が連動している場合、ON/OFFスイッチが「切」のときに暖房放熱器を「入」にすると、表示部・ON/OFFランプが点灯します。
➡異常ではありません。
暖房放熱器を「切」にすると消灯します。

「ピピッ、ピピッ、ピピッ」と音が鳴る

■ 設定温度より貯湯槽のお湯(または暖房水)の温度の方が約10℃以上高いときや、設定温度を高温の「6」「7」にしたときに音でお知らせします。
➡異常ではありません。

■ リモコンに英数字が点滅していれば、機器の不具合の可能性があります。
➡P28「リモコンに英数字が点滅しているとき<故障表示>」を確認し、必要な処置をする。

スイッチや表面のビニールが破れてきた、はがれてきた、浮き上がって空気が入っている

■ 表面のビニールは保護シートです。はがさずに使用してもはがして使用してもかまいません。
➡気になる場合は保護シートをはがす。(P12)

リモコンに英数字が点滅しているとき<故障表示>

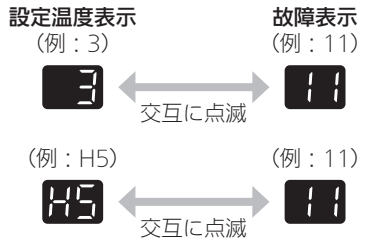
● 不具合が生じたとき、故障表示とON/OFFランプ・優先ランプが点滅します。
以下の内容を確認し、処置をしてください。

● 故障表示の表示パターンについて ●

故障表示（2桁）の表示例（例：11）

点滅

設定温度表示と故障表示（2桁）の表示例



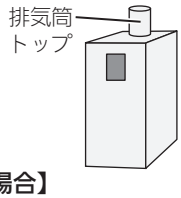
故障ではありません

■：原因

設定温度表示の前に「H」が出る	■設定温度より貯湯槽のお湯（または暖房水）の温度の方が約10℃以上高いことをお知らせ

お客さまで対処できるもの

■：原因　➡：処置

00	■【暖房専用で、機器と暖房放熱器が連動している場合】 停電からの復帰後に、暖房放熱器の運転スイッチを「入」にした **➡ON/OFFスイッチ「切」の場合は「入」、「入」の場合は「切」「入」して、表示が出なければ正常。** **（機器の設置場所へ行き、周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、水漏れがないか確認してから操作してください）**
10	■耐震自動消火装置の作動 **➡ON/OFFスイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常。** **（地震による場合は機器の設置場所へ行き、周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、水漏れがないか確認してから操作してください）**
11 12	■灯油切れの可能性 ■燃焼制御装置の非検知 ■オイルタンクや機器のオイルストレーナーに水が混じっている可能性 ■不完全燃焼の可能性（不完全燃焼している場合は、機器からゴーゴーと低めの音がします） **➡①ON/OFFスイッチをいったん「切」にし、再度「入」にしたあと、給湯栓を開いて表示が出なければ正常。** **② ①の操作後も表示が出る場合は、オイルタンクの残量を確認し、減っていれば給油する。（P9）** **その後、再度①の操作をする。** 上記①・②の操作後も表示が出る場合 **【屋外設置形の場合】** **③排気筒トップの周囲に物が置かれていたり、囲われていたりすれば取り除き、表示が出なければ正常。**  **【屋内設置・強制給排気形の場合】** **③給排気筒トップの前30cm以内に物が置かれていれば取り除き、表示が出なければ正常。** ※上記の操作後も「12」表示が出る場合は、お買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所にご連絡ください。 **【屋内設置・強制排気形の場合】** **お買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所にご連絡ください。**

お買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所に連絡が必要です

- **「故障ではありません」「お客さまで対処できるもの」以外の表示が出るとき**
- **「お客さまで対処できるもの」の処置をしても、表示がくりかえし出るとき**
（部品の寿命の可能性があります）
- **その他、わからないとき**

➡お買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所にご連絡ください。
※機器が使用できない状態で、点検・修理までに日数がかかる場合は、必要に応じて凍結予防の対策をしてください。（P18）

主な仕様

● 本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

製品名		ON-314	ON-314F	OD-434	OD-434F
型式の呼び		ON-314(MBX-366Z)	ON-314F(MBX-366Z)	OD-434(MBX-506Z)	OD-434F(MBX-506Z)
種類	燃焼方式	圧力噴霧式			
	給排気方式	屋内外用半密閉式強制排気形・屋外用開放形	屋内用密閉式強制給排気形	屋内外用半密閉式強制排気形・屋外用開放形	屋内用密閉式強制給排気形
	用途別方式	給湯または暖房用			
	給水方式	水道直結式(減圧弁・逃し弁必要)またはシスターン式			
	加熱方式	1缶1水路式			
点火方式		高圧放電式			
使用燃料		灯油(JIS1号灯油)			
燃料消費量		44.2kW(4.3L/h)		59.7kW(5.8L/h)	
暖房効率		84%		85%	
暖房出力〔能力 大／小〕		37.1kW		50.7kW/42.0kW	
連続給湯効率		84%		85%	
連続給湯出力〔能力 大／小〕		37.1kW		50.7kW/42.0kW	
熱交換器容量		50L		60L	
使用圧力(最高使用圧力)		0.1MPa			
伝熱面積		1.2m^2		1.5m^2	
外形寸法		高さ914mm×幅444mm×奥行702mm		高さ1114mm×幅444mm×奥行702mm	
質量		52kg		59kg	
	満水時	102kg		119kg	
電源電圧及び周波数		AC100V　50／60Hz			
定格消費電力	点火時	91W/89W	94W/90W	97W/94W	94W/88W
	燃焼時	70W/68W	73W/70W	88W/85W	86W/81W
待機時消費電力		2.7W			
排気筒の呼び径		106mm	—	106mm	—
給排気筒の型式の呼び		—	FF-101A、FF-102A	—	FF-112
給排気筒の呼び径		—	80mm	—	排気筒：100mm、給気筒：80mm
給排気筒の壁貫通部の孔径		—	120mm	—	140mm
排気温度		260℃以下			
騒音レベル		50dB(Aレンジ)		53dB(Aレンジ)	
電流ヒューズ		10A			
温度ヒューズ		145℃			
安全装置		対震自動消火装置、点火安全装置、停電安全装置、燃焼制御装置、電動機の過負荷保護装置、過熱防止装置			
付属品		袋ナット、ボイラ固定金具、リモコン取付部材	オイル接続管、ボイラ固定金具、リモコン取付部材	袋ナット、ボイラ固定金具、リモコン取付部材	オイル接続管、ボイラ固定金具、リモコン取付部材

memo

無料修理保証書

本書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。お買い上げの日から下記保証期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所にご連絡ください。

お客さま	ご芳名　　様	販売店	店名
	ご住所		住所　　扱者印
お買い上げ日	年　月　日		電話番号

製品名	ON-314 ON-314F OD-434 OD-434F

〈保証対象部分・保証期間〉

1．保証対象部分：機器本体、リモコン
2．保証期間：お買い上げ日より1年間。

〈無料修理規定〉

1．取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、保証期間中に故障した場合には、弊社が無料修理致します。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理をおこなった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
2．保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所にご連絡の上、修理に際して本書をご提示ください。
3．移設の場合は事前にお買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所にご相談ください。
4．本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理の依頼ができない場合には、お近くのネポン営業所にご相談ください。
5．保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
（1）取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書によらない使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
（2）お買い上げ後の専門業者以外による取付場所の移動、落下等による故障及び損傷。
（3）建築躯体の変形等機器本体以外に起因する当該機器の不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象。
（4）火災、塩害、地震、風水害、雷、煤煙、降灰、酸性雨、腐食性等の有害ガス、ほこり、異常気象、異常電流、異常電圧、異常電磁波、異常周波数、ねずみ・鳥・くも・昆虫類等の侵入及びその他の天災、地変による故障及び損傷。
（5）水道管の錆び等異物の流入による故障及び損傷。
（6）車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障及び損傷。
（7）工事説明書に指示する方法以外の工事設計または取付工事等が原因で生じた不具合、故障及び損傷。
（8）機器に表示してある以外の使用燃料または使用電源（電圧・周波数）でご使用になった場合。
（9）温泉水を給水したことに起因する不具合。
（10）井戸水・地下水を給水したことにより発生した析出物（炭酸カルシウムなど）に起因する不具合。
（11）弊社指定以外の不凍液や、腐食・劣化した暖房水を使用したことに起因する不具合。
（12）本書のご提示がない場合。
（13）本書にお買い上げ年月日、お客さま名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
6．本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

保証責任者　ネポン株式会社

■お客さまへ
1．この保証書をお受け取りになる時にお買い上げ日、販売店名、扱者印が記入・捺印してあることを確認してください。
2．本書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。
3．無料修理期間経過後の故障修理等につきましては、取扱説明書の「アフターサービス」の項をご覧ください。
4．この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

据え付け

据え付け場所の選定および標準据え付け例

据え付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。工事説明書の「特に注意していただきたいこと(安全のため必ずお守りください)」をお読みになり、お買い上げの販売店または施工業者とよくご相談してください。また「標準据え付け例」については、工事説明書の「標準設置図例」をご確認ください。

騒音防止について

設置場所の選びかた次第で騒音は大きく変わります。騒音公害とならないよう、充分配慮して設置場所を選択してください。(お買い上げの販売店とよく相談してください)

- 夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の使用には気を配りましょう。
- 隣家からなるべく離して設置してください。
- ブロック塀などが近くにある場合は、音が反響して大きくなることがありますのでご注意ください。

据え付け後の確認

据え付けが終わりましたら、もう一度、工事説明書の「特に注意していただきたいこと(安全のため必ずお守りください)」をお読みになり、工事説明書に記載されているとおり据え付けられているかどうかを確認してください。

試運転

「試運転」については、工事説明書の「試運転」をご確認ください。

アフターサービス

サービスを依頼されるとき

P26「故障・異常かな?と思ったら」、P28「リモコンに英数字が点滅しているとき<故障表示>」を調べていただき、なお異常のあるときは、お買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所にご連絡ください。

※作業に危険を伴う場所に製品が取り付けられている場合は、アフターサービスをお断りすることがあります。(工事店にご相談ください)

連絡していただきたい内容	• 製品名(機器に貼り付けてある銘板(P2)をご覧ください) • お買い上げ日(保証書をご覧ください) • 異常の状況(故障表示など、できるだけくわしく) • ご住所、ご氏名、電話番号 • 訪問ご希望日
修理料金のしくみ	修理料金は①技術料+②部品代+③出張料などで構成されています。 ①診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・試運転などの作業にかかる料金です。 ②修理に使用した部品代金です。 ③製品のある場所に技術者を派遣するための料金です。

保証について

この取扱説明書には保証書がついています。
必ず販売店名・お買い上げ日などが記入されているのを確認してください。保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。
無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後7年です。なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

修理・点検・商品についてのお問い合わせは･･･

■ お客様登録／所有者登録はこちらから

■ インターネットでの修理のご依頼はこちらから

■ 製品に関するお問い合わせはお買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所へ

ネポン営業所はこちらで確認いただけます

■ お電話でのお問い合わせ

ネポン株式会社
カスタマーセンター
046−247−3195
【受付時間】 月～金 9：00～17：00
(土・日、祝日など弊社休日を除く)

●休日夜間の緊急修理の受け付けは、ネポンカスタマーセンター(046−247−3195)にて行なっております。
※返信にはお時間をいただきます。 (251124)

※通信料金はお客さまのご負担となります。
※リンク先の内容は、予告なく変更・削除される場合があります。